

IT 資格 道 場

PHP8技術者認定上級／準 上級試験 学習用テキスト

細部まで動かして覚える —— 読んで理解する1冊目

無料サンプル(第1章まで)

PHP技術者認定機構「PHP8技術者認定上級／準上級試験」出題範囲 (PHP マニュアルの区分) 準拠
2026年10月版

ご利用にあたって

- このテキストは「IT資格道場」(www.shikaku-doujou.com)の購入者限定テキストのうち、学習用テキストの第1章までを収録した**無料サンプル**です。どなたでもご覧いただけます。
- 無料サンプルも著作物です。転載・改変しての再配布・二次販売はできません。
- AI モデルの学習データとしてのご利用(学習目的の入力・データセット化を含む)はできません。
- 製品版(学習用テキスト・頻出度別ノート・暗記用ノートの3点)は、ご購入者を識別できる透かし入りのPDFとして提供されます。
- 本PDFはスマートフォン・タブレットでの閲覧に合わせたA5版面・文字サイズで組版しています。

目次

この教材群の使い方(3点セット)

この試験が問うもの

第1章 インストールと設定 [1.1]

インストールと php.ini の読み込み [1.1]

ini_get と ini_set、変更できない設定 [1.1]

.user.ini・php_value と FPM [1.1]

サンプルはここまでです

この教材群の使い方(3点セット)

種類	役割
① 学習用テキスト	これだけで問題が解けるようになる本編
② 頻出度別ノート	テキストを読んだら次はこれ。頻出順に絞った問題と解説で「解ける」に橋渡し。試験直前の最終チェックにも
③ 暗記用ノート	覚えるべき要点だけを一問一答に凝縮。空き時間の反復と用語の再確認用

使い方: ① 学習用を読む → ② 頻出度別で解き方を掴む → ③ 問題演習で腕試し → ④ 頻出度別に戻って再確認(試験直前もここ)。暗記用は空き時間や用語の再確認に。

この試験が問うもの

PHP8技術者認定上級／準上級試験は、PHP 8.0 の言語仕様と標準関数の細部を問う試験です。出題範囲は PHP マニュアルの区分に沿っていて、章ごとの出題比率が公式に決まっています。このテキストの章立ても同じ順番です。

項目	内容
運営	PHP技術者認定機構
問題数	30問
試験時間	2時間
合格区分	正答率7割以上で上級、5割以上7割未満で準上級
出題形式	選択式
受験方式	CBT
対象のバージョン	PHP 8.0 (特に明記がなければ 8.0.*)

出題の比率は次のとおりです。

- 第2章 言語リファレンス: 49.6%
- 第5章 基本的な関数: 30.0%
- 第3章 セキュリティ: 13.3%
- 第1章 インストールと設定、第4章 機能: 各 3.3%

コードを読んで出力や挙動を答える問題と、関数の引数・戻り値・既定値・例外といったマニュアルの細部を問う問題が中心になります。例のコードは、手元の PHP 8.0 で一度実行して、出力を確かめてください。

範囲に入らないものは次のとおりです。

- 列挙型 (Enum) と Fiber
- 8.1 以降の構文 (readonly プロパティ、first-class callable、never 型など)

SAMPLE

第1章 インストールと設定 [1.1]

インストールと php.ini の読み込み [1.1]

PHP を入れると、動かし方ごとの実行ファイルができます。[^1]コマンドラインの CLI、Web サーバーに組み込むモジュール、FastCGI で動かす FPM などです。どれも起動時に `php.ini` を探し、1 回だけ読み込みます。配布物の `php.ini-development` と `php.ini-production` は雛形なので、`php.ini` の名前では置かないと読まれません。

読み込まれたファイルは `php --ini` の `Loaded Configuration File` の行で分かります。`Additional .ini files parsed` の行は追加分です。指定のディレクトリ (`conf.d` など) の `*.ini` が名前順に読まれ、同じ設定は後のファイルが勝ちます。`-c` で `php.ini` の場所を指定でき、`-n` を付けると設定ファイルは 1 つも読まれません。

`php.ini` は `名前 = 値` の行を並べ、`;` から行末まではコメントです。

```
memory_limit = 64M
display_errors = Off
error_reporting = E_ALL & ~E_DEPRECATED
```

`On`・`true`・`yes` は `"1"`、`Off`・`none` は空文字列になります。定数と演算子も書けます。サイズには `K`・`M`・`G` の単位をつけられ、`64M` は `ini_get()` でも文字列のままで、バイト数には直りません。設定の強さは、弱い順に `php.ini`、追加の `ini`、`-d`、`ini_set()` です。`php.ini` は起動時にしか読めないのもので、FPM などでは再起動が再読み込みをして反映します。

ini_get と ini_set、変更できない設定 [1.1]

`ini_get()` は設定値を文字列で返し、存在しない設定名には `false` を返します。`ini_set()` は、成功すると変更前の値を文字列で返し、失敗すると `false` を返し、変更後の値は返しません。変更は実行中のスクリプトにしか効きません。元の値には `ini_restore()` で戻せます。

```
var_dump(ini_set('precision', '10'));
var_dump(ini_get('precision'));
var_dump(ini_set('post_max_size', '2M'));
var_dump(ini_set('no_such_setting', '1'));
ini_restore('precision');
var_dump(ini_get('precision'));
```

```
string(2) "14"
string(2) "10"
bool(false)
bool(false)
string(2) "14"
```

1 行目の `"14"` は変更前の値です。変更後の値は `ini_get()` で読みます。`true` を渡すと `"1"`、`false` を渡すと空文字列になるので、`ini_get()` が `bool(true)` や整数を返すことはありません。

どこで変えられるかは設定ごとに決まっていて、`ini_get_all(null, true)` の `access` が数で示します。

```
$info = ini_get_all(null, true);  
foreach (['memory_limit', 'post_max_size', 'disable_functions'] as $k)  
{  
    echo $k, ' ', $info[$k]['access'], "\n";  
}
```

```
memory_limit 7  
post_max_size 6  
disable_functions 4
```

INI_USER (1) は `ini_set()` で変えられる区分です。INI_PERDIR (2) は `php.ini`・`.htaccess`・`.user.ini` で変えられます。INI_SYSTEM (4) は `php.ini` とサーバー設定だけです。INI_ALL は合計の 7 で、`PHP_INI_USER` という定数はありません。`memory_limit`・`precision`・`display_errors` は 7 なので、`ini_set()` が通ります。`post_max_size` と `upload_max_filesize` は 6 で、1 のビットがないので実行中には変えられません。`disable_functions` は 4 で、`.user.ini` でも変えられません。

.user.ini・php_value と FPM [1.1]

実行中に変えられない INI_PERDIR の設定は、スクリプトより手前の層で書きます。FastCGI (FPM を含む) ではディレクトリごとの `.user.ini` を使い、Apache のモジュール版では `.htaccess` の `php_value` や `php_flag` を使います。

`.user.ini` は `php.ini` と同じ書き方で、INI_PERDIR と INI_USER の設定を上書きできます。探す範囲は、スクリプトのあるディレクトリからドキュメントルートまでで、それより上は探されません。ファイル名は `user_ini.filename` (既定

は `.user.ini`) で決まります。再読み込みの間隔は `user_ini.cache_ttl` (既定は 300 秒) で、間隔が過ぎるまで書き換えは反映されません。

`.htaccess` の `php_value` は Apache が解釈する指示なので、PHP を別のプロセスで動かす FPM では効きません。

FPM (FastCGI Process Manager) は、nginx などの Web サーバーから FastCGI で依頼を受けて PHP を実行するプロセス管理です。ワーカーの束を「プール」と呼び、プールごとに実行ユーザーと待ち受け先 (`listen`) を決めます。FPM の中では `PHP_SAPI` が `fpm-fcgi` になります。プロセスの増やし方は `pm` で選びます。`static` は `pm.max_children` の数を常時動かし、増減させません。`dynamic` は `pm.start_servers` から始め、`pm.min_spare_servers` と `pm.max_spare_servers` の間で増減します。`ondemand` は依頼が来るまでワーカーを起動しません。プール設定ファイルには `php_value[名前] = 値` や `php_flag[名前] = on` を書けます。`php_admin_value` と `php_admin_flag` で書いた値は、`ini_set()` や `.user.ini` で上書きできません。設定ファイルの文法は `php-fpm -t` で検査します。

サンプルはここまでです

続き(第2章～巻末)は、PHP8技術者認定上級／準上級試験 問題集のご購入で、頻出度別ノート・暗記用ノートと合わせて3点すべてダウンロードできます。

SAMPLE

PHP8技術者認定上級／準上級試験 学習用テキスト(無料サンプル)

版

2026年10月版(PHP技術者認定機構「PHP8技術者認定上級／準上級試験」出題範囲(PHP マニュアルの区分) 準拠)

発行

IT資格道場(<https://www.shikaku-doujou.com>)

お問い合わせ

info@shikaku-doujou.com

PHP は PHP Group の商標です。PHP8技術者認定上級／準上級試験は PHP技術者認定機構の試験名称です。記載されているその他の会社名・製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本教材は公式の出題範囲 (PHP マニュアルの区分) と PHP 8.0 のマニュアルの内容を基に作成したもので、PHP技術者認定機構との提携・承認関係はありません。

本文・図表・設問はすべてオリジナルの著作物です。無断での転載・複製・再配布・二次販売はできません。お気づきの点は info@shikaku-doujou.com までご連絡ください。